

学校法人 八戸工業大学 建学の精神

「正己以格物」

（己を正し以って物にいたる）

本法人は、その経営指針と基本的な教育方針として、人格、徳性の涵養並びに知性の錬磨を象徴的に表す『正己以格物』^{せいき いかくぶつ}（己を正し以て物に格る）を不易の綱領と定め、建学の精神としています。

この言葉は、儒教の根本精神を表した四書五経の一つ「大学」に拠るもので、物の道理をよく見極め、広く知識を求め、社会における自己の役割が如何なるものかを、深く認識し、高い倫理性をもって行動することの重要性を説いているものです。

本法人は、この建学の精神に基づき、社会の負託と時代の要請に応えることを要諦とし、創造的、個性的な自己思考能力を有する有為の人材を養成しています。

□教育理念

「良き技術は、良き人格から生まれる」

本学は、建学の精神として「良き技術は、良き人格から生まれる」という理念をもっています。この建学の精神は、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味し、本学の目指す教育理念そのものです。

□使命・目的

学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、あわせて人類の幸福を希求する科学技術の振興と文化の創造ならびに地域社会の発展に寄与する。